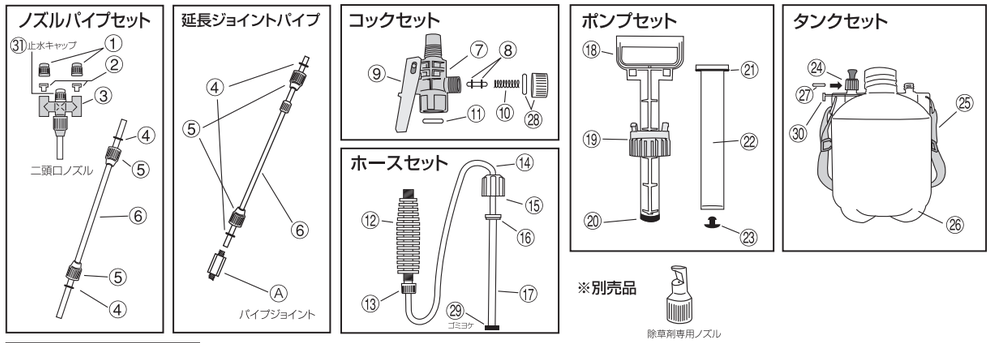
分　解　図



パーツリスト

セット	No.	部品名	セット	No.	部品名	セット	No.	部品名	セット	No.	部品名
ノズルパイプ	1	ノズルキャップ	コックセット	7	コック	ポンプセット	18	ポンプハンドル	タンクセット	24	安全弁
	2	ノズル駒(虫)		8	コック弁Oリング		19	ポンプキャップ		25	バンド
	3	二頭口ノズルジョイント		9	レバー		20	ワン型パッキン		26	タンク
	31	二頭口用止水キャップ		10	コックスプリング		21	ポンプOリング		27	安全弁パッキン
	4	ナット用Oリング		11	コックOリング		22	ポンプシリンダー		30	パイプホルダー
	5	アジャストナット		28	コックキャップ(パッキン付)		23	ポンプ弁パッキン	別売品		除草剤専用ノズル
	6	ノズルパイプ	ホースパイプ	12	グリップ	パッキンセット	4	ナット用Oリング			
				13	グリップ・ホース用キャップ		20	ワン型パッキン			
延長ジョイントパイプ	A	パイプジョイント		14	ホース		21	ポンプOリング			
	4	ナット用Oリング		15	ホースキャップ		23	ポンプ弁パッキン			
	5	アジャストナット		16	タンク・給水接続パッキン	ノズルセット	1	ノズルキャップ			
	6	ノズルパイプ		17	給水ホース		2	ノズル駒(虫)			
				29	ゴミヨケ		3	二頭口ノズルジョイント			

故障と修理

内　容	原　因	処　置
●ポンプハンドルの動きが悪い	▼ワン型パッキン⑳の油切れ	▲ワン型パッキン⑳にミシンオイルか機械油を少量塗布する。
●シリンダー㉒の液漏れ	▼ポンプ弁パッキン㉓にキズか劣化	▲ポンプ弁パッキンを新品に交換する
●圧力がかからない	▼ネジ部より空気が漏れる ▼⑪⑳㉑㉓のパッキンの劣化 ▼逆止弁のゴミ詰まり、または劣化、老化	▲各ネジ部を締めつける ▲新品と交換する ▲掃除する
●噴霧の出が悪い	▼加圧不足 ▼ネジ部より空気が漏れる ▼ノズルキャップ①②㉙のゴミ詰まり	▲加圧する ▲各ネジ部を締めつける ▲掃除する
●液が止まらない	▼レバーコックのゴミ詰まり ▼レバーコックのパッキンの劣化、老化	▲掃除する ▲レバーコックを交換する
●安全弁の動きが悪い	▼ゴミ詰まり等	▲安全弁㉔を交換する

お問い合わせ

修理についてのご相談や部品のご注文は、
お買い上げの販売店、または下記までご依頼ください。

総発売元　トラスコ中山株式会社
〒550-0013　大阪市西区新町1丁目34番地15号
E-mail:techno.center@trusco.co.jp
お客様相談室　0120-509-849
http://www.orange-book.com/

製造元　マルハチ産業株式会社
東京都港区芝4丁目12番2号　TEL 03-5443-8611 FAX 03-5443-8614
E-mail:maruhachi@muc.biglobe.ne.jp

MADE IN CHINA

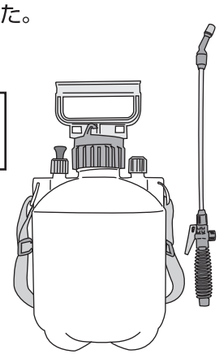
TRUSCO PRO TOOL ®

蓄圧式噴霧器　Pressure Sprayer

TFT04L　共通取扱説明書

●このたびは TRUSCO® 蓄圧式噴霧器をお買い上げ頂きありがとうございました。
●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
　お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

この取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただくため、安全に関する重要な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。



⚠ 安全上のご注意

⚠ 危険：この表示を守らなかった場合、**破裂等の思わぬ事故を招き、**人が死亡、又は重症等の重大な結果に結び付く可能性があります。
⚠ 警告：この表示を守らなかった場合、人が死亡、又は重症等の重大な結果に結び付く可能性があります。
⚠ 注意：この表示を守らなかった場合、人が、けがや火傷を負う可能性が高くなり、本器の故障の原因にもなります。

⚠ 使用上のご注意

⚠ 危険

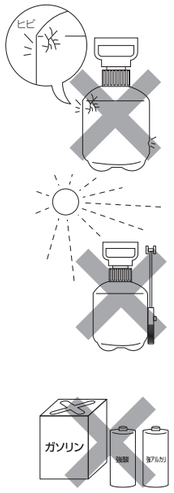
○タンクは通常のご使用で、3年をめどに交換してください。
○使用年数に関わらず、使用環境や使用頻度、薬剤の希釈条件や使用後の保管不備によって、本器の劣化が早まる可能性があります。タンクにクモの巣状の細かい亀裂が生じたり、変色や異常が出たらタンクの寿命です。直ちに交換してください。
○直射日光に当たる場所に長時間放置した場合、本器の材質が劣化し破損する恐れがあります。
○本器にキズをつけたり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
○火や高熱のそばに置かないでください。また、お湯を入れないでください。
○本器は園芸専用噴霧器につき、園芸目的以外には使用しないでください。また、塗料等、粘度の高い液体、強酸性・強アルカリ性の液体、ベンジン、ガソリン、シンナー等の溶剤類は絶対に使用しないでください。破裂する恐れがあります。
○種類の違う薬剤が混合されると、危険ですのでおやめください。

⚠ 警告

○改造は絶対にしないでください。故障や事故の原因となり、思わぬ怪我のもととなります。
○ご使用する薬剤は規定通りに希釈してください。高濃度の薬剤は植物を痛め、また本器の性能も損ない、思わぬ事故の原因となります。
○ご使用する際は、安全のため、必ず露出部の少ない保護衣(保護マスク・保護メガネ・保護服・保護帽・手袋・長靴)を着用してください。
○作業終了後は、直ちに本器の圧力を安全弁より開放してください。
○作業終了後は、直ちに顔や手足、皮膚の露出部分などを石鹸でよく洗ってください。またうがいを必ず実行し、目は清水で洗ってください。
○噴霧器を持ち運びする際は、必ずハンドルとポンプがロックされているか、確認してください。

⚠ 注意

○タンクに液体を入れたまま倒さないでください。
○本品の寿命を永く保つため、また、パーツの損傷を防ぐため、使用後は必ず真水で1～2分噴霧して薬剤を洗い流してください。
○薬剤は有害ですので、お子様の手の届かないところで保管してください。



使用できない薬剤の例

可燃性液体や溶剤(ガソリン、ベンジンなど)、鉱物質微粉入り水和剤・ケルセン水和剤、油性薬剤、園芸用以外の殺虫剤(ハエ、蚊用殺虫剤など)、畜産用薬剤(オルソ、ヨードなど)、防疫殺菌用薬剤(クレゾール、ホルマリンなど)、石灰硫黄合剤、マシン油剤。

※本機は液体用です。粉剤や粒剤は使用しないでください。(目詰まりや故障の原因になります)

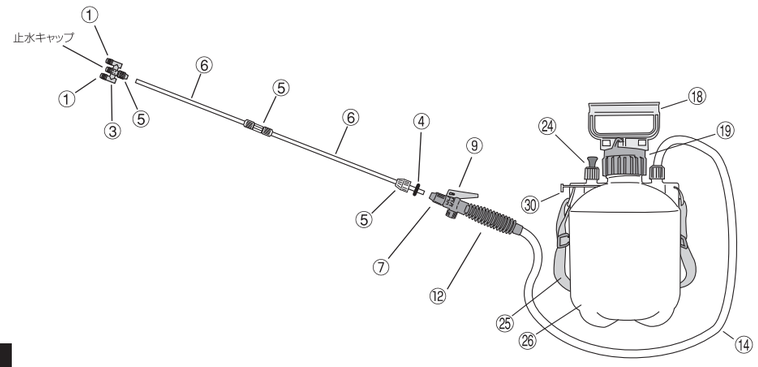
この噴霧器は園芸用薬剤専用です。可燃性の液体など、園芸用の薬剤以外は使用しないでください。また鉱物質微粉の入っている水和剤を使用すると、ポンプの寿命や性能に影響を及ぼしますので、使用しないでください。

☆薬剤の散布は…

○風がなく、雨のふらない日を選びましょう。
○病害虫が発生する時期に早めに散布しましょう。
○1週間おきに2～3回散布すると、より一層効果があります。
○散布したあとは、必ず顔や手足など肌の露出部分を洗い、うがいをしましょう。

各部の名称

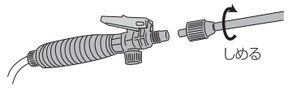
①ノズルキャップ
④ナット用Oリング
③ジョイント(No.3)
⑤アジャストナット
⑥ノズルパイプ
⑦コック
⑨レバー
⑫グリップ
⑭ホース
⑱ポンプハンドル
⑲ポンプキャップ
㉔安全弁
㉕バンド
㉖タンク
㉚パイプホルダー



使用方法

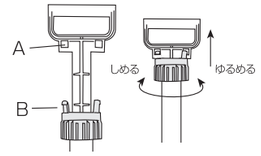
❶ ノズルを組み立てる

●ノズルパイプを取り付ける
●各部のナットはしっかり締めてください。



＜ポンプキャップを外す場合＞

●つめBにハンドルAをひっかけ、持ち上げながらハンドルを左に回してゆるめてください。
ポンプキャップが外れます。



❷ タンクに薬剤を入れる(使用上のご注意)

⚠注意
・前回使用した薬剤が、残っていないか確認してください。
化学反応をおこし、有毒ガスが発生する危険があります。
・薬剤の調合は付属の説明書に従ってください。
・薬剤は適切な濃度をお守りください。
・濃度の高い薬剤は植物や噴霧器を痛め、タンクの劣化が進みます。
・別の容器で、薬剤を十分溶かしてからタンクに入れてください。
・マシン油剤とは園芸用薬剤です。
機械用油のマシン油は使用できません。
間違いの無いようにご注意ください。

以下の除草剤はタンクの破損やパーツの変形による故障の原因となりますのでおやめください。
○スタム
○トレファノサイド
○コンゴーサン

除草剤

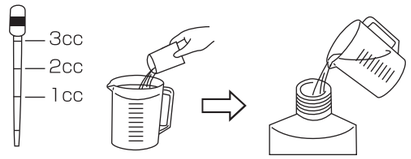
タンクの破損やパーツの変型による故障の原因になります。

濃度に注意

溶かす薬剤の目安表

水	薬剤		
	500倍にうすめるとき	1000倍にうすめるとき	2000倍にうすめるとき
1リットル	2cc	1cc	0.5cc
4リットル	8cc	4cc	2cc

よく溶かす

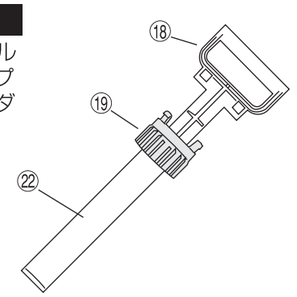


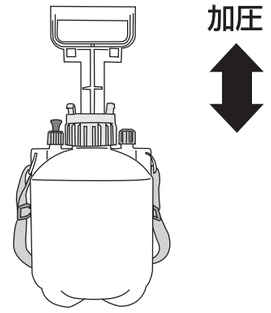
⚠注意 タンクの上限の目盛り以上薬剤を入れないで下さい。
容器の目盛りは多少の誤差がありますので、目安にしてください。

❸ ポンプセットをタンクに取り付ける

●ポンプキャップを持ち、シリンダが動かなくなるまで締めた後、タンクに取り付ける。
●両手でハンドルを握り、上下させて加圧する。
●加圧は一定の硬さになったら止めてください。
●加圧後はハンドルをロックしてください。 持ち運びに便利です。
●安全弁から「シュー」という音がしたら加圧を中止してください。

ポンプセット
⑱ポンプハンドル
⑲ポンプキャップ
㉒ポンプシリンダ

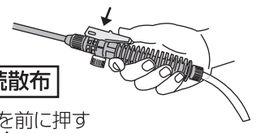




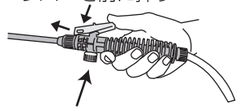
⚠注意 ●加圧するときは、レバーがロックされていないか確認してください。
もし、ロックされた状態で使用しますと、液体が不用意にノズルから飛散することになります。

❹ 散布する (使用前には必ず各ジョイント部分のナットをしっかり締め付けてください)

断続散布
親指でレバーを押す



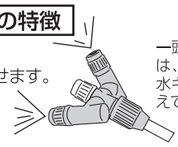
連続散布
レバーを前に押す



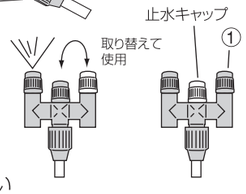
ロック機能付ワンタッチレバー操作で連続散布できます

広範囲に散布するとき

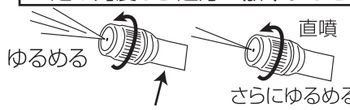
二頭口ノズルの特徴
2つのノズルは各360度まわせます。



一頭口にして使用する場合は、片方の①を外して、止水キャップ(赤色)と入れ替えてください。

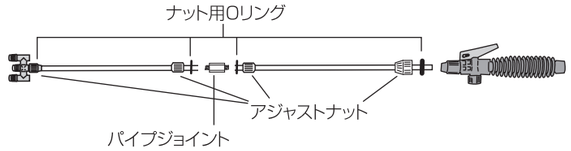


一定の角度から遠方へ散布するとき



この部分を指で押さえ噴口をまわしてください

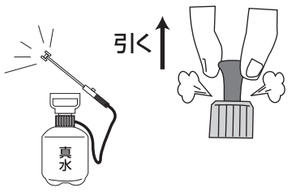
⚠各部のアジャストナットはしっかり締め付けてください。



⚠注意 ●散布の際は薬剤が対象物以外にかからない様、風向きや周囲の状況に十分注意してください。
●除草剤の散布には、目的の面積以外の幅にかからないように、一定の角度にノズルを調整してください。(他の植物を枯らすことがあるため)
●霧の勢いが弱くなれば、再び加圧してください。
●霧が不調の場合は、ノズルキャップをはずして付着しているゴミを洗い流してください。

❺ 使用後はタンクの圧力をぬく

●作業が終わればタンクを立てた状態で「シュー」という音がしなくなるまで安全弁押さえを引き、タンク内の圧力を逃がしてください。



⚠警告 破裂する恐れがありますので、加圧した状態のまま放置しないでください。

⚠警告 けがをする危険があるのでポンプキャップ等をはずす際は、必ず先にタンク内の圧力を抜いてください。

●使用後はタンク内の薬剤を抜き、十分に洗い流してください。
薬剤が残っていると本器の性能を損ない、思わぬ事故の原因となります。
また、他の薬剤と誤って混同すると危険です。

●保管時は必ずタンク内の圧力を逃がし、直射日光を避けて保管してください。
直射日光の当たる場所へ長時間放置しておいたり、圧力のかかったままにしておきますとタンクが劣化し、破裂する恐れがあります。